【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第４区分
【発行日】平成29年3月30日(2017.3.30)

【公表番号】特表2017-502857(P2017-502857A)
【公表日】平成29年1月26日(2017.1.26)
【年通号数】公開・登録公報2017-004
【出願番号】特願2016-538702(P2016-538702)
【国際特許分類】
Ｂ４１Ｎ　10/06　(2006.01)
Ｂ４１Ｎ　10/04　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ４１Ｎ　10/06
Ｂ４１Ｎ　10/04

【手続補正書】
【提出日】平成29年2月21日(2017.2.21)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
少なくとも印刷可能な表面層（３２）および延伸不能な裏当て層（３８）を含む印刷ブランケット（３０）であって、前記印刷ブランケットは、印刷ブランケットシリンダ（１０）の空隙（１６）内へと挿入されるように構成された先端（４２）および後端（４４）を有し、
前記ブランケットの前記先端（４２）は、前記先端の内方に配置され且つ実質的に前記ブランケットの幅にわたって延びる、第１の逃げ領域（４６）を含み、前記第１の逃げ領域は、ブランケットカーカス（３２）内の空隙によって画定され、且つ、ブランケットの壁によって両側で境界形成され、
前記ブランケットの前記後端（４４）は、前記後端の内方に配置され且つ実質的に前記ブランケットの幅にわたって延びる、第２の逃げ領域（４８）を含み、前記第２の逃げ領域は、前記延伸不能な裏当て層の上に形成された前記ブランケットの少なくとも１つの層内の空隙によって画定され、且つ、ブランケットの壁によって両側で境界形成され、
前記第１および第２の逃げ領域は、前記ブランケットが前記ブランケットシリンダに取り付けられたときに、前記ブランケットの前記先端および前記後端が前記ブランケットシリンダ内の前記空隙内へと挿入される位置と前記第１及び第２の逃げ領域とが実質的に整列するように、配置され、
前記延伸不能な裏当て層（３８）が前記ブランケットの前記後端（４４）において前記ブランケットカーカス（３２）を越えて延びている、印刷ブランケット。
【請求項２】
前記ブランケットカーカス（３２）は、前記印刷可能な表面層の下に配置された圧縮可能な層（３４）を含む、請求項１に記載の印刷ブランケット。
【請求項３】
前記ブランケットカーカス（３２）は、少なくとも１つの強化層（３３）を含む、請求項２に記載の印刷ブランケット。
【請求項４】
前記強化層が、織布、不織布材およびポリマーから成る群から選択された、請求項３に

記載の印刷ブランケット。
【請求項５】
前記ブランケットの前記先端においてブランケットバー（４３）を含む、請求項１に記載の印刷ブランケット。
【請求項６】
前記ブランケットの前記後端においてブランケットバー（４５）を含む、請求項１に記載の印刷ブランケット。
【請求項７】
前記延伸不能な裏当て層が、金属または他の延伸不能な材料を含む、請求項１に記載の印刷ブランケット。
【請求項８】
前記ブランケットの前記先端および後端の各々においてブランケットバー（４３、４５）を含む、請求項１に記載の印刷ブランケット。
【請求項９】
組み合わせであって、請求項８に記載の印刷ブランケット（３０）が、空隙（１６）と前記空隙内の単一式巻取りロッド係止機構（１４）とを含むブランケットシリンダ（１０）に取り付けられ、前記係止機構は、先端棚状部（２１）と、前記棚状部と反対の側に凹部（２２）を有する回転可能なロッド（２０）と、を含み、
前記第１および第２の逃げ領域を越えて配置された、前記ブランケットカーカス（３２）の各部分（５０、５２）が、前記印刷ブランケットシリンダの前記空隙（１６）内で摩擦係合する、組み合わせ。
【請求項１０】
前記ブランケットの前記先端における前記ブランケットバー（４３）の縁部が前記棚状部（２１）と係合する、請求項９に記載の組み合わせ。
【請求項１１】
前記ブランケットの前記後端における前記ブランケットバー（４５）が、前記回転可能なロッド（２０）内の前記凹部（１６）内へと挿入され、前記ブランケットの前記先端及び後端を前記係止機構（１４）内へ係止するように前記ロッドが回転される、請求項９に記載の組み合わせ。
【請求項１２】
前記ロッドの回転が、前記ブランケットの前記先端および前記後端の前記部分（５０、５２）の表面を、前記ブランケットシリンダ内の前記空隙（１６）内においてともに摩擦係合させる、請求項１１に記載の組み合わせ。